

造形ワークショップ「ねんどぱーく」の試み

藤田知里（初等教育学科）

Attempt at Planning and Running an Art Workshop "NENDO PARK"

Chisato FUJITA (Department of Elementary Education)

抄 録

本報告は、2014年5月24日（土）に開催された、子どもと保護者が造形活動を楽しむためのワークショップ「ねんどぱーく」に関するものである。「ねんどぱーく」は、就実大学教育学部初等教育学科4年生で図画工作・造形表現を研究している学生が自ら企画・運営を行ったもので、当日は7組20名（ワークショップ参加者12名、保護者7名、乳児1名）の親子が参加し、粘土遊びを楽しんだ。プログラムは、①みんなでこねこね、ねんどあそび、②ねんどで自分だけの人形をつくろうーサイガってどんな生き物？ー、③いろんなかたさのこむぎこねんどであそぼう、である。このワークショップを通して、参加した子どもには、五感を通してテラコッタ粘土という材料を体験し、友達と関わりながら粘土遊びを体験する場を提供することができ、また、学生には、子どもの造形活動における指導や援助について、実践経験を通して体得する良い機会となった。

キーワード： 造形表現，子ども，ワークショップ，地域貢献